

## IIRC<IR> フレームワークのバックグラウンド・ペーパーの翻訳チームを編成します

日本における統合報告書発行企業は東証上場会社数の10%に近づき300社を超えようとしています。その作成社数の多さについてはIIRC関係者にとっては謎と言っても過言でない様子であり、その背景と要因を調べるためCEO以下のメンバーがわざわざ来日しヒヤリング等を介してIIRCスタッフの調査結果を確認するほどになっています。

しかしその一方で、統合報告書の「質」の面では、未だしの感が拭えないと言わざるを得ません。米国SECの制度開示に倣った我が国の証券投資開示制度に慣れ親しんできた日本の企業開示担当者にとって、英国型の原則主義による任意開示には戸惑うことが少なからずあり、統合報告書の作成に着手してから本年で5回目の統合報告書の制作に取り組むなか、「IIRC<IR> フレームワーク(以下 IIRC FW)」について関係者がようやくその要点を表面的には理解しはじめた段階にあると認識しております。

そこで、去る9月より「WICI ジャパン統合報告セミナー」を開講し、日本企業の統合報告書の質の向上に貢献することに繋げようと致しました。これまで2回4コマのセミナーを実施するなかで、一層の統合報告書の質的向上を図るには、IIRC FW および WIRF のみならずそれらを支える IIRC FW 関連文書等を翻訳し会員間で共有することが欠かせないことに気付きました。

IIRC がこれまでに発表した FW を支える Background Paper としては以下のものがあります。

| Topic          | Lead organization(s)                                                                                                                   |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Business model | Chartered Institute of Management Accountants (CIMA)<br>International Federation of Accountants (IFAC)<br>PricewaterhouseCoopers (PwC) |
| Capitals       | Association of Chartered Certified Accountants (ACCA)<br>Netherlands Institute of Chartered Accountants (NBA)                          |
| Connectivity   | World Intellectual Capital Initiative (WICI)                                                                                           |
| Materiality    | American Institute of Certified Public Accountants (AICPA)                                                                             |
| Value Creation | Ernst & Young LLP (EY)                                                                                                                 |

以上の中から、まずは WICI が主担当組織としてまとめ上げた IIRC Background Paper の“Connectivity”の翻訳から始めたいと考えております。そのテーマは、企業の価値創造に要する時間軸を縦軸とすれば日々取り組む価値創造プロセスを構成する経営データがどのように繋がっているかを横軸として、これらを如何に表現するかを主題としております。作成当時 WICI から IIRC に派遣され、現在 WICI ジャパンで運営委員会のメンバーである三代まり子さんが主管責任者を務めた“Connectivity”を、以下の要領で翻訳することにいたしました。会員の皆様の奮っての参加をお待ちします。

2019年10月2日

WICI ジャパン運営委員会事務局

### 記

#### 【プロジェクト体制】

- ・プロジェクトリード：三代まり子（WICI Japan 運営委員会理事）
- ・翻訳メンバー：WICI Japan 会員より、ボランティアでご協力いただける方を5～7名を募集
- ・監修：住田孝之氏（内閣府知的財産戦略推進事務局長）

#### 【スケジュール(2017)】

- ・メンバー募集期間：10月3日～10月10日
- ・Kick Off（翻訳割り振り、翻訳の注意点共有）：10月中旬
- ・1st ドラフト（進捗確認）：10月末
- ・1st ドラフト締め切り：11月10日
- ・修正：11月11日～11月20日
- ・住田氏のチェック期間：11月21日～11月25日
- ・最終修正：11月26日～11月30日
- ・WICI Japan ステコミ最終承認：11月16日のステコミにおいて、12月1日のWICI シンポジウム2017で翻訳プロジェクトの進捗と会員向け配布予定（12月16日のWICI Japan 月次定例会）をアナウンス。

※応募される方は、三代宛（[marikomishiro@yahoo.co.jp](mailto:marikomishiro@yahoo.co.jp)）または瀬川宛（[chieko00322@yahoo.co.jp](mailto:chieko00322@yahoo.co.jp)）に10月10日までにご一報ください。